

まさきのバイオマス推進事業

Pick up eco

平成18年度から、「えひめバイオマスプロジェクト」のモデル町として、再生可能で地球上に優しい有機性資源を使ったバイオマス推進事業を進める本町。この事業に取り組む人が増えると、より多くのごみが資源化されるなど、松前町の環境も良くなっています。

まさきの

ひまわりと食用油から車の燃料を生み出す



調理で油を使った後は、その油を回収BOXへ持つて行きます。



回収 BOX (執務・営業時間内)

役場、東・西・北公民館、まさき村（エミフル MASAKI 内）、ダイキ EX 松前店



使用済み油をバイオディーゼル燃料に精製し、公用車やひまわりバスに活用。

29年度
初の試み

New

6月に燃料用のひまわりの苗を無料配布。自宅で育てる。

町の花「ひまわり」を育てます。育てるのは、町ではなく、町民の皆さん。自宅で、また高校生の協力を得て地域ぐるみで、育てていきます。

ひまわり



年間で二酸化炭素 1,440kg の削減効果
(28年度)



町の花である「ひまわり」の種から搾油したひまわり油と、家庭の使用済み燃料油を活用してバイオディーゼル燃料を精製し、公用車や町内を走るひまわりバスに利用しています。

28年度にひまわりの種から搾油した油は116リットルでした。また、回収BOXの回収量は341.5リットルで、前年度に比べ450リットル以上増加していました。エコな運行のため、今後もより多くの皆さんの協力を待ちています。



せんてい枝を堆肥にして農地で活用



農地で利用



堆肥化



回収

町では、せんてい枝や草は可燃ごみとして焼却していません。資源ごみとして分別収集し、北川原にある「有限会社あぐり」で堆肥に変換し、町内の農地で利用しています。

平成28年度のせんてい枝の収集量は、837トンで、そこから690トンの堆肥に変換することができます。

松前校区は第2・4金曜日、北伊予・岡田校区は第2・4水曜日が、せんてい枝の回収日です。下記にせんてい枝の出し方を載せてありますので、この機会に日ごろの出し方を見直し、資源化に努めましょう。

松前校区は第2・4金曜日、北伊予・岡田校区は第2・4水曜日が、せんてい枝の回収日です。下記にせんてい枝の出し方を載せてありますので、この機会に日ごろの出し方を見直し、資源化に努めましょう。

この機会に日ごろの出し方を見直し、資源化に努めました。

出し方



分別方法



- 枝打ち処理した直径10センチ未満、長さ1メートルまでのもの
 - 枝打ち処理した時の葉
 - 枯葉、雑草
- ※ 柱や板など加工したもの、直径10センチ以上のものは可燃ごみ（指定袋に入らなければ粗大ごみ）。
- ※ タケのこの皮、ソラマメの茎やさや、さつまいものつるなどは可燃ごみ。